

「心のノート」活用推進事業

24年度補正予算額
(案) 7億円

児童生徒が身に付ける道德の内容を分かりやすく表し、道德的価値について自ら考えるきっかけとし、理解を深めていくことができるような児童生徒用の冊子として、「心のノート」を全ての小・中学生に配布・活用し、道德教育の充実を図る。

全国の小・中学校に在籍している全児童生徒に心のノートを配布・活用

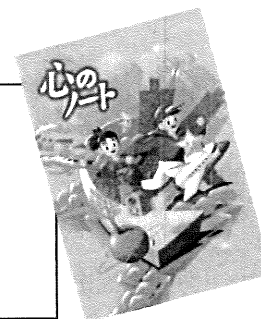
小学校1・2年生用

- むねをはっていこう
- 心と心をむすぼう
- いのちにふれよう
- みんなと気持ちよくいよう など



小学校3・4年生用

- かがやく自分になろう
- 人とともに生きよう
- いのちを感じよう
- みんなと気持ちよくすごそう など



授業のなかで

休み時間に

様々な
活用の場面

自分ひとりで

家庭や地域で

小学校5・6年生用

- 自分の一日は自分でつくる
- 心と心をつなぐネットワーク
- 今生きているわたしを感じよう
- ぐるりとまわりを見渡せば など



中学生用

- 自分を見つめ伸ばして
- 思いやる心を
- この地球に生まれて
- 社会に生きる一員として など



地域に根ざした道徳教育の推進

(平成24年度予算額：630,512千円)
平成25年度要求額：630,512千円

【背景】

- 未来を担う子どもたちの豊かな人間性を育成する重要性
- 教育基本法における教育の目標として、「豊かな情操と道徳心を培う」を新規規定
- 新しい学習指導要領において、道徳教育の更なる充実

【課題】

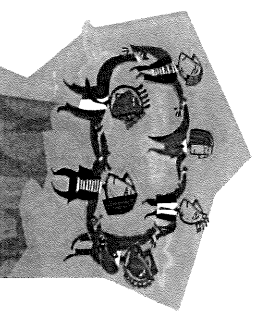
- 道徳の時間の指導の形式化
- 学年段階が上がるにつれて子どもを受け止めが良くない
(特に高等学校における道徳教育が課題)

など

～道徳教育総合支援事業～

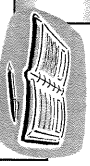
自治体による多様な事業への支援

- (1) 特色ある道徳教育支援
- ◆ 外部講師派遣
 - ◆ 保護者・地域との連携
 - ◆ 道徳教育研修 など



- (2) 道徳教材活用支援
- ◆ 地域教材作成
 - ◆ 国作成教材 (WEB版心のノート、読み物資料など)活用 など

日本人のよさを生かし伸ばす道徳教材の開発活用



東日本大震災からの復興に向けた支え合いなど、世界から高い評価を受けた日本人の道徳性を一層生かし伸ばすため、道徳教育の視点毎に読み物資料を作成

道徳教育推進協議会



地域における創意工夫を生かした実践事例の紹介など、道徳教育の推進方策に関する全国協議会を開催

学校・地域の実情等に応じた道徳教育の促進、道徳教育の質の向上

事業仕分けにおける指摘事項を踏まえた対応について

平成21年度予算額 : 1,336百万円

【道徳教育実践研究事業等】

- ◆ 全国協議会
- ◆ 指定校
- ◆ 読み物資料の作成

【道徳教育用教材活用支援事業】

- ◆ 道徳教材(心のノート除)の作成・購入に対する支援

【「心のノート」活用推進事業】

- ◆ 国による心のノートの一律印刷・配布

平成21年 民主党「事業仕分け」の結果について』において、事業廃止との仕分け結果
平成21年 行政刷新会議で事業仕分けにおいて、「心のノート」の一律印刷・配布を取りやめ
た内容の平成22年度概算要求(改要求)について、「予算要求の縮減(1/3から
半額)」の評価結果

～学校・地域の実情等に応じた多様な道徳教育を支援～

- ◎ 国による心のノートの一律印刷・配布を取りやめ、WEB化
- ◎ WEB版心のノートの活用や地域版心のノートの作成を希望する自治体等に対しては、国として支援
- ◎ 国による一律配分の指定校をH22(継続分)をもって廃止。
自治体による学校指定は引き続き支援。

平成22年度予算額 : 706百万円

【道徳教育総合支援事業(706百万円)】

- ① 全国的な事例収集と情報提供
 - ◆ 全国協議会
 - ◆ 読み物資料等の作成
 - ◆ 心のノートのWEB化
- ② 自治体による多様な事業への支援
 - ◆ 特色ある道徳教育支援、道徳教材活用支援(心のノート含)
 - ◆ 指定校 → H22年度限りで廃止